

ヒート剤

外用薬

注射薬

・・・

あらゆる薬品の調剤をバーコードで鑑査支援し、調剤過誤を防止します。

ヒートピッキングチェックシステムは、調剤支援システム“RINKS”からの処方データを活用し、あらゆる薬剤の計数調剤の過誤を未然に防止するために開発したシステムです。これまで、調剤する人の目視だけに頼っていたヒート剤、外用薬などの薬品の取り揃えは、ハンディターミナルに送信された処方データに従って、該当する薬品をピックアップし、そのバーコードと照合し、必要な錠数を入力するだけで確実なチェックが可能になります。

システムの特徴

調剤過誤防止

- 取り揃え間違え防止(ピッキングチェック)
- TC補充鑑査
- 薬品棚への補充鑑査

ピッキングの間違いを画面表示と音でエラー報知



業務効率を最大化します

- RINKSの処方データを活用するため、処方入力を2度打ちする手間は必要ありません。薬品マスターも自動ダウンロードするため、新薬の採用もスムーズにおこなえます。
- 3.2インチ、高精細・大画面液晶のハンディターミナルを採用。片手操作に最適な操作性を実現
- 薬品棚番表示
- GS1コードより使用期限を読み取り、ジャーナルプリンタから薬品名・使用期限を記載したメモを印刷します。RINKSでは、起動時に任意設定の期間内に使用期限を迎えるケースがあれば画面表示致します。

エビデンスの強化

- 計数調剤完了後、鑑査結果をプリンタ出力
- 操作ログを取得

計数調剤鑑査システム



RINkS

RINkSから処方データを受信する

機能1 2次元バーコードリーダー付 ハンディーターミナル

受信した処方データを基に該当薬品を
ピックアップし、バーコード照合



機能2 薬品棚への薬品補充チェック



薬品棚のカセットと
薬剤のバーコードを
照合して補充鑑査

機能3 タブレットケースへの薬品補充チェック



タブレットケースと
薬剤のバーコードを
照合して補充鑑査

運用フロー チャート

機能
1

計数調剤のピックアップチェック



ピックアップ完了後は
錠数を入力^{注1)}して完了した調剤データを送信

注1) 錠数入力は運用で変更可能です。
※ヒート剤だけではなく、水剤、外用薬、注射薬など
バーコードが付いている薬剤はすべて照合可能



調剤完了時にジャーナルプリンタより
調剤内容を出力

ジャーナルプリンタ

構成機器

	ハンディーターミナル(2次元バーコードモデル)
表示部	3.2インチWVGA (480×800ドット)
寸法	幅62(55)×長さ180×厚み48(28)mm
本体重量:	255g
通信部	無線、Bluetooth搭載

	ジャーナルプリンタ
印字方式	ダイレクトラインサーマル、カッター付
寸法	幅142×奥行き204×高さ132mm
本体重量	約1.68kg(ロール紙含まず)
消費電力	65W(ASCII連続印字時)

お問い合わせは

PHC株式会社
バイオメディカ事業部

〒105-8433
東京都港区西新橋2丁目38晩5号

[お問い合わせ窓口]

薬局システム営業所 TEL 03(5408)7267 FAX 03(5408)0882

薬局システム営業所(中) TEL 052(551)0822 FAX 052(551)3490

薬局システム営業所(西) TEL 06(6136)1419 FAX 06(6136)1449

このカタログの記載は、2019年4月現在のものです。